



「予告なしで、避難訓練が行われました。」



訓練で身の安全を確保する3年2組の生徒

昨日の6時間目のはじめに地震が発生したという想定で避難訓練が行われました。生徒には予告をしないで実施しました。「地震です。地震が起きました。直ちに身の安全を守る行動をしてください。」と校舎内に教頭先生の緊張した声の放送が響きました。廊下にいた人、教室にいた人、トイレにいた人など授業前の時間ですから、生徒は校舎のあちこちにいたと思います。

それぞれの場所で、地震に対する身の安全をとることができたでしょうか？私は、3年生が落ち着いて身の安全を確保できているか確認するために、緊急放送が流れるとすぐに2階の教室の様子を見に行きました。どのクラスも生徒は落ち着いて身の安全を確保するために自分の机の下に頭を入れて放送の指示に従っていました。予告なしに突然、緊急避難放送が入っても慌てずに冷静に駆動できたのが素晴らしいと思いました。また、避難訓練をいい加減に受け止めて、ふざけた態度で避難している生徒もいなかったのがさすが3年生だと思いました。

東日本大震災では、約3万人もの尊い命が奪われました。その中には中学生も含まれます。3万人の人たちの夢と希望を一瞬に奪ったのです。昨日は訓練の後に体育館で宮城県で東日本大震災に被災した根本先生が声を詰まらせながらその時の地震の恐ろしさを話してくれました。訓練で行っている行動は多くの奪われた尊い命が教訓となっています。尊い命をみんなを守るために訓練に真剣に取り組んでいきましょう。

